

編集・発行
東京都新宿区環境部
リサイクル推進課
〒160 新宿区歌舞伎町1-4-1
TEL 3209-1111(代)
年4回(6月、9月、12月、3月)発行

新宿リサイクル情報紙

実施中
キャンペーン記念
リサイクルグッズプレゼント
—詳しくはお店にある応募用紙をご覧下さい—

前略 左の「コマ漫画」は、私たちの使い捨てなどの生活様式

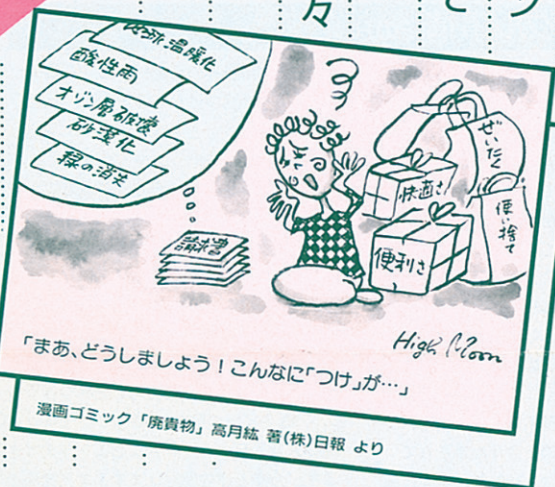
が、温暖化・酸性雨・オゾン層の破壊・砂漠化など地球環境破壊のひとつの大きな原因になっていることを描いています。私たちの健やかで快適な生活のため、容器や包装のむだやごみを減らし、環境悪化を防ぐ

とキャンペーン

を実施して

います。

草々



漫画ゴミック「廃棄物」高月結 著(株)日報より

第一回新宿区わたしたちの健やかで快適な生活のために 使い捨て容器と 余分な包装を減らそう

キャンペーンやっています

新宿区
新宿区商店会連合会
新宿区町会連合会

3月25日(土)
3月31日(金)

- ・インスタントラーメンなどは、カップ入りでなく袋入りを買う。
- ・ピクニックなど弁当を持って出かける時は、自分の弁当箱や水筒を持参し、使い捨ての入れ物や缶入り飲料の利用をやめる。
- ・パーティーや会合の際、使い捨ての食器は使わない。

使い捨て容器、
やめられませんか？



- ・買い物に行くときは、買い物袋を持って出かけ、商店の袋や包装を断る。
- ・靴やバッグを買うとき、使わない箱は断る。
- ・本を買うとき、いらぬカバーは断る。

恥ずかしがらずに
言ってみましょう！



あなたのちょっとした行動がおだやごみを減らします

- ・必要最小限の包装で出荷する。
- ・使い捨てにせざるを得ないものは、再生原料を使用する。
- ・ガラスびんやプラスチック製品等、容器の形や材質の規格を統一し、リユース、リサイクル、し易くする。

生産者こそ工夫してほしい

- ・仕入れの際、なるべく簡易な包装のものを選ぶ。
- ・ばら売りができる物はその旨を積極的に客に伝え、なるべく箱などの使用をやめる。
- ・買い物袋を持っている客には、「このままで(包まないで)よろしいですか」と一声かけてみる。
- ・入れ物や袋を持参して買い物きた客に「助かります」と感謝の意を伝える。
- ・なるべくトレーやラップで包んでない商品売る。
- ・使い捨て製品はなるべく売らない。

商店も
こんな努力をしてほしい

- ・シャンプー、洗剤、コーヒー等は、詰め替え用の袋入りを買う。
- ・菓子などは缶入りや箱入りをさげ、バラ売りや袋入りを買う。
- ・贈り物もなるべく簡易な包装のものを選ぶ。
- ・ケーキ、和菓子、惣菜などは、容器を持って買いに行く。
- ・トレーやラップで包んでない商品を意識して選ぶ。

包装について
考え直してみよう

「長すぎて覚えられないよー」「なんで「健やかで快適な生活」と「使い捨て容器と余分な包装を減らす」が結び付くんじゃったけ」「使い捨て容器や余分な包装は貴重な資源の浪費になるだけじゃなく、ちょっとしか売れないのにすぐごみになるから、廃棄物として処理を請け負うことになるよ」

役所のリサイクルに怒っています

論奏

近頃、街中でプラスチックの黄色と青色の箱が道端においてあるのを見かける。開けば、役所がリサイクルの為にびんや缶を回収しているのだという。資源を無駄にしないでリサイクルするのは、当然良いことではある。燃えないごみとしてごみの回収に出してしまえば、焼却したり、埋め立てたりされて、空気が土壌を汚染してしまいます。環境のためにもリサイクルはなかなか良いことである。

そこでわたしも協力しようかとも思ったのだが、なぜかわが家はもともと缶も殆ど出ない。ジュース類はまず飲み出し、ビールは近年缶よりびんのほうが環境に良いと聞き、面倒臭いと思いつつも必ず大瓶で買い、空き瓶は酒屋へ返している。お茶も葉っぱを買い急須で入れて飲んでいる。クッキー等は自宅用に缶入りは買わない。頂き物の缶が時々出るだけである。道端の回収箱を見ても、ビール、ジュース、お茶などよく自販機で売っている類の缶が圧倒的に多いように見受けられる。びんについてもビールびんや一升瓶が

なりある。こんな物みんな私のように生活のなかでちよっとと手間かければ出ないはずのごみ(資源?)なのには……。みんな自分の手間を惜しんで、その結果役所が税金を使っただけ始末をされている。このままではジュースやビールを売って儲けているメーカーは何の痛みも責任も感じないで、使い捨ての缶やびんを作り続けていくだろう。役所は飲料メーカーと結託している、などと思われれば不思議はない。私のように人知れず地味な努力をし、まじめに税金も納めている人をおざっぽくしているのか。無論、区役所如きの独力で経済大国日本の飲料メーカーの姿勢を変えることなど無理な注文であることもわかってはいる。しかし筋だけは通していただきたい。メーカーへ要望書をだすとか、不買運動を組織するとか、通産省へ陳情するとか、区がそれなりの姿勢を示し努力をして頂きたい。因みに上記のような行動を起こされる時は是非ご一報いただきたい。昔取った杵柄で、何をいっても地せま参りましょう。

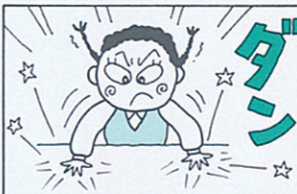
(元氣な中年S子)

トレー・牛乳パック回収ボックスのある場所 & 再生トイレトペーパー・ティッシュペーパーを売っているお店

Table with 5 columns: 店名, 所在地, トレー, パンク, ペーパー, ペーパー. Lists various recycling points across different districts like Shinjuku, Nishi-Shinjuku, and Yamanote.

牛乳パック回収ボックスは、上記の他、区施設でも設置しております。詳細については、リサイクル推進課までお問い合わせ下さい。上記は区で現在把握している店舗です。他にも該当店がありましたらご一報願ければ幸いです。

愛の劇場



※資源集団回収についてのお問い合わせは、リサイクル推進課まで。

フリーマーケット情報

Table with 4 columns: 月日, 場所, 問い合わせ先. Lists free market events on 2/2, 4/16, 4/29, 5/7, 5/14, and 5/21.

●印は、リサイクル運動市民会の主催
●印は、日本リサイクル運動市民会の主催
※詳細は、上記問い合わせ先にお尋ねください。

耳寄り情報

講演会

「迫りくる資源の枯渇を考慮した技術革新」
われわれ先進諸国の大量消費社会をこのまま続けていくと、近い将来、資源の枯渇と自然環境の破壊により人類は存続できなくなる、と多くの学者が警告しています。でも、私たちは、どこかで「なんとかかなるさ」と、なんの根拠もなく楽観し、現実から目をそむけてきたような気がします。そろそろ真剣に考えてみませんか。

講師・山本良一氏(東京大学生産技術研究所教授)
日時・4月12日水 午後6:30-8:30
場所・積水化成製品工業会講堂(新宿三井ビル2階)
主催・(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会、新宿区リサイクル推進課、(財)日本環境協会
申込み先・積水化成製品工業会環境管理部 久保宛
☎3347-9696 FAX 3344-2335
電話またはFAXで4月8日までにお申込み下さい。

編集後記

春は学生や社会人にとっては、年度の始まり。この時期に引越す人も多くいます。引っ越しといえば、荷物の整理をするとか、やらなくなったものが意外に出てきたりして、そんな時、使えぬものはポイと捨て、区のもち出し借来部に出品するなり、フリーマーケットなどに出してみるという。ちよとした収入になるかも。

世界のリサイクル事情その8

環境政策の新次元 ~ドイツの新しい法律

松田美夜子 (リサイクル研究者)

ドイツは昨年の秋、企業にとって大変に厳しい「廃棄物リサイクル促進法」を制定しました。この法律は、これまでの「廃棄物処理法」に代わるもので、これからのドイツの環境政策の基本法となるものです。原案の段階では、資源循環経済法といわれていたのですが、公布のときの正式名は「リサイクル経済促進・廃棄物無公害処分確保法」。

法。日本ではわかりやすく「廃棄物リサイクル促進法」と訳されました。

ドイツのこの新しい法律の基本となる理念は「循環のなかで考える」こと。目的は「天然資源の節約」です。「廃棄物(ごみ)」とは、もはや所有者が捨てたものだけをいうのではなく、すべての製品、そしてそれを生産するときに生じたすべての残余物を廃棄物と規定する。新しい生産責任によって製造メーカーはその処理に責任を持つ。ということがこの法律の概念です。

具体的にはどのように運用されていくのでしょうか。これは基本法なので、それぞれの分野ごとに個別の政令が制定されていきます。そのひとつは、1991年にすでに施行されている「包装廃棄物規制令」です。

すべての使用済みの包装材を企業に回収・再生利用を義務づけたこの法律は、デュアルシステムとグリーン・プункト(緑のマーク)という分別システムを確立し、年間100万トンの包装材の発生を抑制して大成功をおさめています。つぎに1995年度中に実施予定とされているのが「自動車リサイクル規制令」と「電気・電子機器リサイクル規制令」です。これらの法律は、自動車やコンセントを使う電気・電子機器について、そのメーカーに対し中古品の無料引き取りと可能な限りの再利用を義務づけるものです。ドイツの動きは、きっとヨーロッパ中へ波及し日本へも大きな影響を与えてきます。今年も環境問題はますます興味深くなりそうです。

トレー減らし、がんばってます!

簡易包装を進めるうえで、食品の発泡スチロールトレー等は大きな問題のひとつです。トレーやビニール袋を使わないで、バラ売りしているスーパーマーケット「いなげや秋津駅前店(清瀬市)」を取材しました。



必要な量だけ買えるとお客様にも大好評!

魚だってバラ売りができます。



少々ずきがついたってどうせ皮をむいたり料理しちゃうんだから問題ないよな。



のりちゃんの得たレポート

売り場に出すのに包装する手間も、包装材の経費もかからないのでお店にとっても良いそうです。



バラ売りは、お客様からの要望がきっかけとなったそうです。私たちの気持ちをきちんと伝えることで、企業も消費者も一緒になって私たちの暮らしや環境を快適で質の高いものにできるのだと思いました。